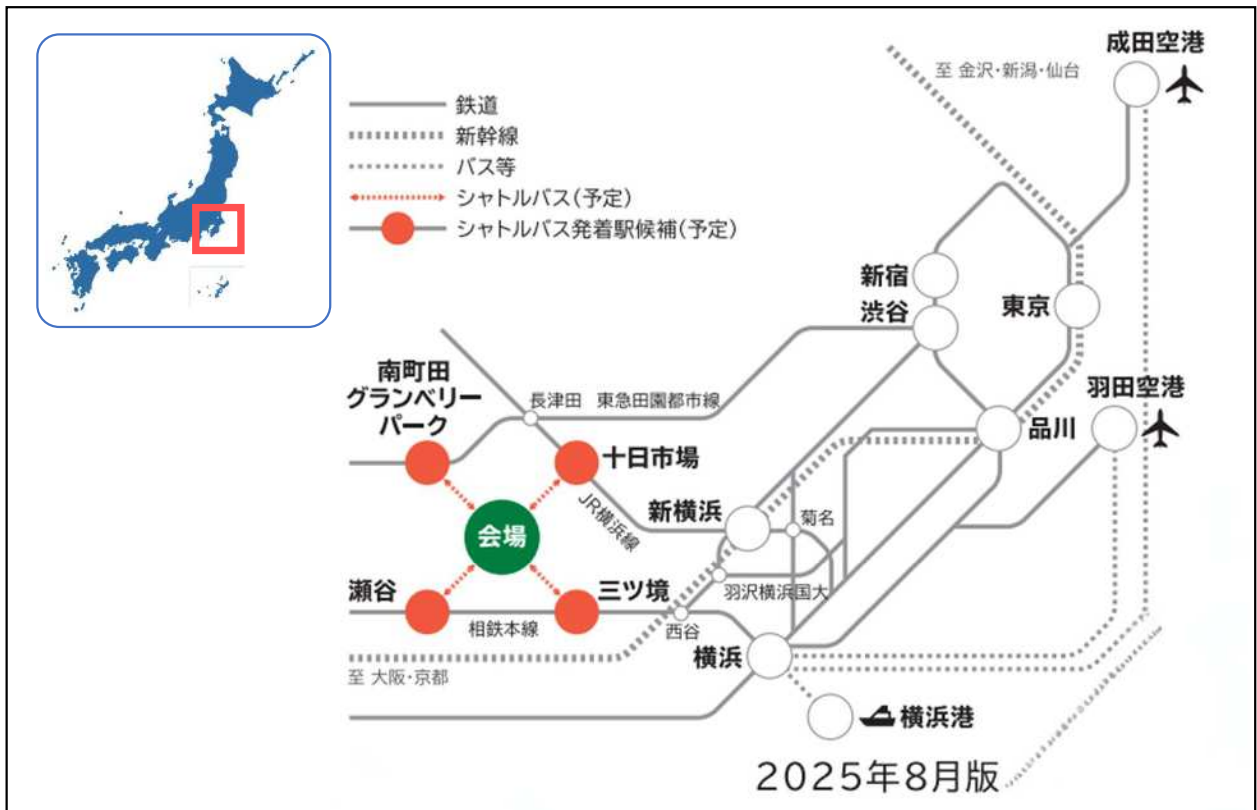


会場アクセス図

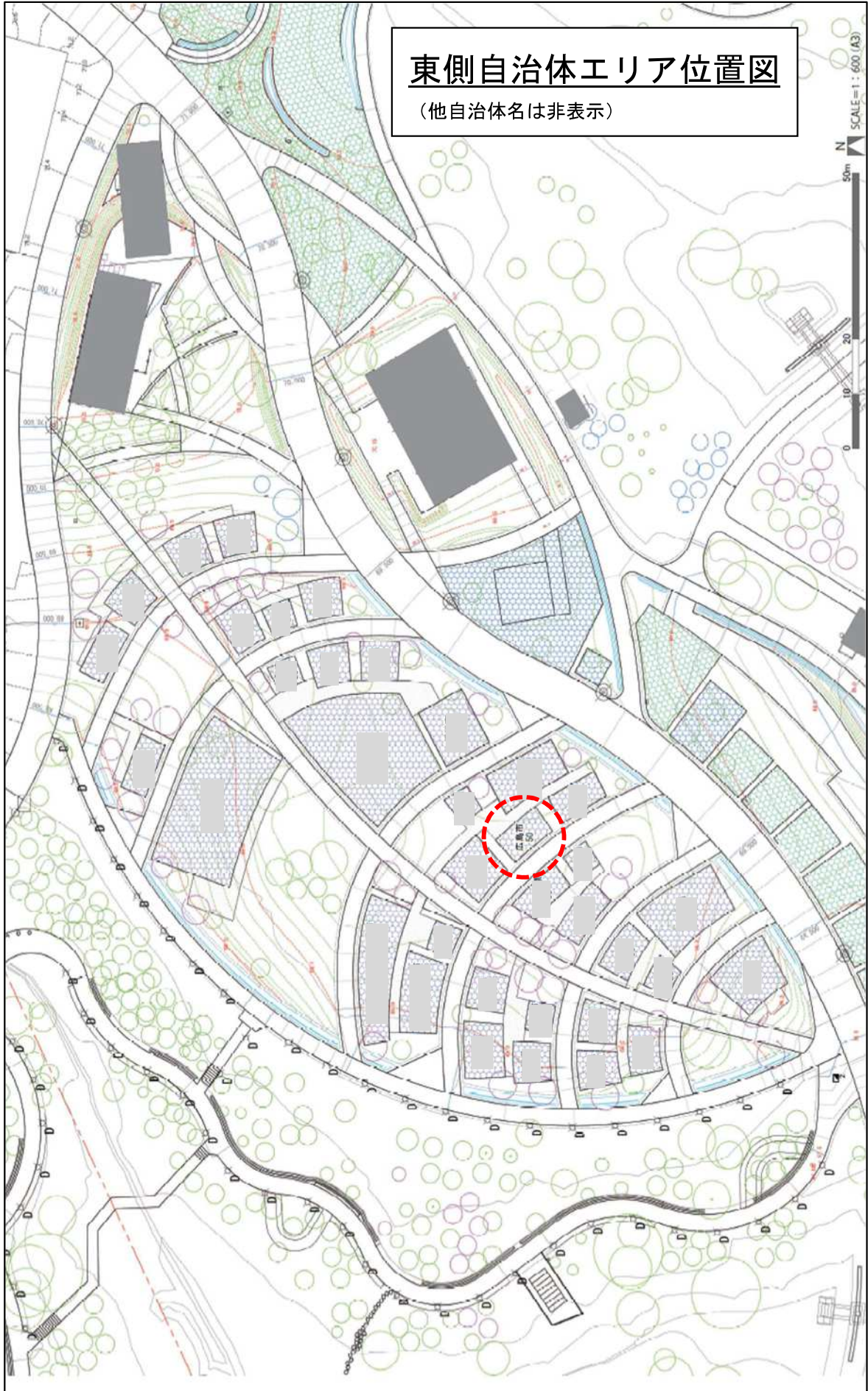


会場全体図



東側自治体エリア位置図

(他自治体名は非表示)



区分	種別	令和8年						令和9年											
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
書類作成	設営関係書類				●	●	●												
	撤去関係書類																		
庭園設営	基盤整備							■											
	高木及び低木植栽							■											
	オブジェの設置								■										
	ベンチの設置								■										
	給水及び電気設備設置								■										
	草花植栽								■										
維持管理	除草・花がら摘み・修景せん定												○	○	○	○	○		
	植替え												○						
撤去	撤去																		

支払区分	第1回	第1回支払区分（庭園設営）																	
	第2回							第2回支払区分（維持管理及び撤去）											
業務実施報告書 提出時期	庭園設営	庭園設営完了後																	
	維持管理							4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分						
	撤去													撤去後					

	令和8年						令和9年											
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
博覧会関連 スケジュール（2026.2.19時点）	■		■				■		■									
	施工説明会（7月中）						会期前説明会（1月中）		GREEN×EXPO 2027 開催期間（3/19～9/26）									

別紙③ 植栽一覧

区分	植物の名称（一般名称）	学名	大きさ・規格	単位	数量	植栽時期	会期中の植替え	備考
高木	アラカシ	<i>Quercus glauca</i>	H=5.0m	本	3	1月	無	株立物、山採り
	ソヨゴ	<i>Ilex pedunculosa</i>	H=3.5m	本	3	"	無	"
	アオハダ	<i>Ilex macropoda</i>	H=4.5m	本	2	"	無	"
	ハイノキ	<i>Symplocos myrtacea var. myrtacea</i>	H=4.5m	本	3	"	無	"
	コナラ	<i>Quercus serrata Murray var. serrata</i>	H=4.5m	本	2	"	無	"
	コハウチワカエデ	<i>Acer sieboldianum</i>	H=3.5m	本	2	"	無	"
	アオギリ	<i>Firmiana simplex</i>	H=3.5m	本	1	"	無	山採り
低木	コバノミツバツツジ	<i>Rhododendron reticulatum</i>	H=0.8m、W=0.3m	本	3	1月	無	
	アセビ	<i>Pieris japonica subsp. japonica</i>	H=0.8m、W=0.3m	本	5	"	無	
	クロモジ	<i>Lindera umbellata Thunb</i>	H=0.5m、W=0.3m	本	5	"	無	
	トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i>	H=0.5m、W=0.3m	本	3	"	無	
	ビバーナム・ティヌス	<i>Viburnum tinus</i>	H=0.5m、W=0.3m	本	5	"	無	
	シモツケ・ホワイトゴールド	<i>Spiraea japonica</i>	H=0.3m	本	9	"	無	
	ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i>	H=0.3m	本	3	"	無	
他	被爆アオギリ二世	<i>Firmiana simplex</i>	H=0.5m	本	1	2月	無	苗木を本市より貸与
草本類	ギボウシ・ハレシオン	<i>Hosta</i>	ポット径12.0	pot	40	2月	無	
	クサソテツ	<i>Matteuccia struthiopteris</i>	ポット径12.0	pot	20	"	無	
	ユーフォルビア・マーチニー	<i>Euphorbia a martinii</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
	ユーフォルビア・シルバースワン	<i>Euphorbia characias 'Silver Swan'</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
	エレモフィラ・ニベア	<i>Eremophila nivea</i>	ポット径10.5	pot	60	"	無	
	シルバーレース	<i>Tanacetum ptarmiciflorum</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
	ラムズイヤー	<i>Stachys byzantina</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
	ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
	ヒューケラ	<i>Heuchera sanguinea</i>	ポット径10.5	pot	60	"	無	
	フランネルフラワー	<i>Actinotus helianthi</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
	チューリップ（白）	<i>Tulipa gesneriana</i>	球根	pot	125	"	あり（4月抜取）	
	ガーベラ（白）	<i>Gerbera jamesonii</i>	ポット径10.5	pot	30	"	あり（4月抜取）	
	アリッサム・スノークリスタル	<i>Lobularia maritima 'Snow Crystals'</i>	ポット径10.5	pot	60	"	あり（4月抜取）	
	アルメリア・バレリーナ・ホワイト	<i>Armeria cv. ballerina white</i>	ポット径10.5	pot	30	"	あり（4月抜取）	
	キンギョソウ（白）	<i>Antirrhinum majus</i>	ポット径10.5	pot	60	"	あり（4月抜取）	
	ローダンセマム・アフリカンホワイト	<i>Rhodanthemum</i>	ポット径10.5	pot	30	"	あり（4月抜取）	
	ケール（紫）	<i>Brassica oleracea var. acephala</i>	ポット径10.5	pot	30	"	あり（4月抜取）	
	サルビア・シズラー（白）	<i>Salvia alba</i>	ポット径10.5	pot	30	4月	無	
	ジニア・プロフュージョン（白）	<i>Zinnia cv. Profusion</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
	アングロニア（白）	<i>Angelonia angustifolia</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
	ペンタス（白）	<i>Pentas lanceolata</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
	ユーフォルビア・ダイヤモンドフロスト	<i>Euphorbia hypericifolia</i>	ポット径10.5	pot	12	"	無	
	コスモス（白）	<i>Cosmos bipinnatus</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無	
バーベナ（色）	<i>Verbena</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無		
トウガラシ・パープルフラッシュ	<i>Capsicum annuum</i>	ポット径10.5	pot	30	"	無		

2027年国際園芸博覧会概要

ア. 開催意義

花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造の提案、横浜から明日に向けた友好と平和のメッセージの発信

○国際園芸博覧会の趣旨

- ・国際的な園芸・造園の振興
- ・花や緑あふれる暮らし
- ・地域・経済の創造
- ・社会的な課題解決

イ. 開催理念・テーマ

花や緑、農、食は、我々の命を支え、暮らしを支え、また、世代、民族を超えて人々に感動や笑顔をもたらしている。

我々人類は、植物をはじめとした自然に生かされており、生命の潮流と循環の中で生きている。

世界が経済的な豊かさを主体とした対比的な充足から、質的成熟社会への転換期にある中で、2027年に開催される本博覧会は、改めて植物の自然資本財としての多様な価値を再認識し、持続可能な未来と誰もが取り残されない社会の形成に活用するとともに、自然との共生や幸福感を、新たな明日の風景として可視化していくことを目指す。

○テーマ

「幸せを創る明日の風景」

○サブテーマ（テーマ実現の切り口）

「自然との調和」・「緑や農による共存」・「新産業の創出」・「連携による解決」

ウ. 全体概要

名称：2027年国際園芸博覧会

博覧会種別：A1（最上位）クラス（AIPH「国際園芸家協会」承認+BIE「博覧会国際事務局」認定）

開催場所：旧上瀬谷通信施設（神奈川県横浜市）

開催期間：2027年3月19日（金）～9月26日（日）

博覧会区域：約100ha（内、会場区域80ha）

参加者数：1,500万人（ICT活用等の多様な参加形態含む）

開催主体：一般財団法人 2027年国際園芸博覧会協会

出展内定者数：神奈川県・横浜市を除く74自治体を含む384件（R8.4.26公表時点）

エ. 花・緑出展（自治体）屋外出展

○2027年国際園芸博覧会のテーマに加え、4つのサブテーマのいずれかに適合した展示

○日本列島の各地域の自然や文化の多様性を全体として表現し、国内外の来訪者に日本各地への興味、関心を促し、誘客・交流につながる庭園・花壇作品

広島市出展庭園概要

ア. 展示の名称

PEACE=GREEN 緑は平和の象徴

イ. 花・緑出展作品を通じて来場者へ伝えたいこと

1945年8月6日、広島市に人類史上初めて原子爆弾が投下され、多くの尊い生命が失われた。打ちひしがれた市民の心に、生きる勇気と希望を与えてくれたのは、焦土の中から萌え出た緑であった。市民や広島のみならず、緑は「生命」そのものであり、「平和」の象徴であることを伝えたい。

ウ. 本博覧会のテーマ・サブテーマとの関連性

被爆から75年が経過し、被爆者の高齢化が進む中で、「平和」についての価値観を若い世代へ引き継ぐとともに、広く世界中の各都市と共有しながら、「平和」を実現するための取組を緑の分野で進めている。具体的には、国内外の都市や人々に向けて、平和のシンボルである被爆樹木を継承するとともに、被爆樹木の種や被爆樹木二世の苗木を配布し各地で育成してもらうなど、平和を象徴する緑の継承に向けた取組を行っている。

本博覧会においても、「もの言わぬ証人」として被爆の実相を後世に伝えていく上で重要な役割を担う被爆樹木を活用した展示により、平和意識の醸成を図り、平和を愛する人の輪を広げていきたい。

※ 関連するテーマ：明日に向けた友好と平和のメッセージが感じられる庭園

※ 関連するサブテーマ：「連携による解決」

エ. 展示施設や展示物の概要

○被爆の実相に触れ、「ヒロシマの心」が感じられる場

庭園の中央部は、光の空間として、瓦礫の中から芽吹いた緑を被爆アオギリ二世の実物展示で表現し、印象的な空間を作り出す。

○花と緑があふれ、広島のおもてなしの心が感じられる場

庭園の外周部は、光の空間を包む樹林として、花と緑にあふれ、居心地の良さと華やかさに満ちた空間を作り出す。

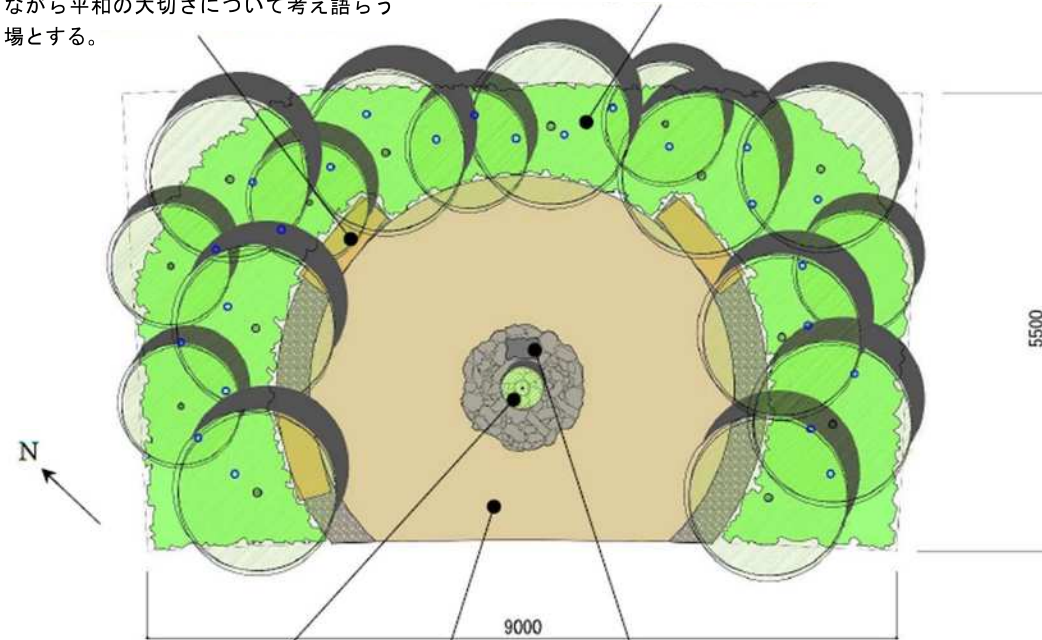
広島市出展庭園概要

語らいのベンチ (2人掛け)

…豊富な緑陰とミストによる居心地の良い空間でくつろぎ、被爆アオギリ二世を眺めながら平和の大切さについて考え語らう場とする。

光の空間を包む樹林 (山取り)

林床はホワイトガーデン (白花系) で清らかな雰囲気をつくる。定期的に林床からミストを噴出し、ミストに包まれた印象的な空間とする。(避暑対策を兼ねる)



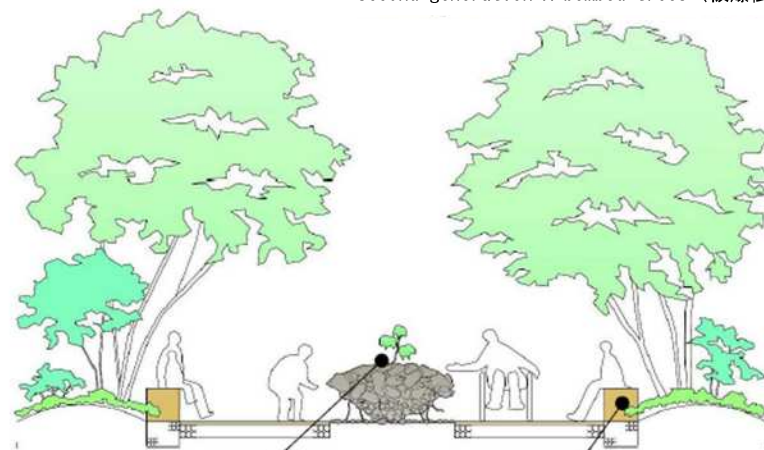
被爆アオギリ二世の実物展示

光が降り注ぐ庭園の中心にポツリと被爆アオギリ二世が芽生えた情景が、緑は平和の象徴であることを印象的に表現する。

園路幅 1.8m以上を確保
(アクセシビリティガイドラインに準拠)

被爆アオギリ二世の説明サイン

来場者は空間の中心に印象的に芽生えた緑を見て「この芽生えは何だろう?」と不思議に思う。そして、その芽生えが被爆アオギリ二世であることが半周回ったここで初めて分かる。広島では緑を含めた多くの生命が失われた。緑の芽生えは生きる希望を与えた。緑は広島のみならず平和の象徴であることを伝える。「被爆樹木は被爆の惨禍に遭いながらも再び芽吹き、市民に生きる勇気と希望を与えるとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え掛けている」ということを伝える。
Second generation A-bombed trees (被爆樹木二世)

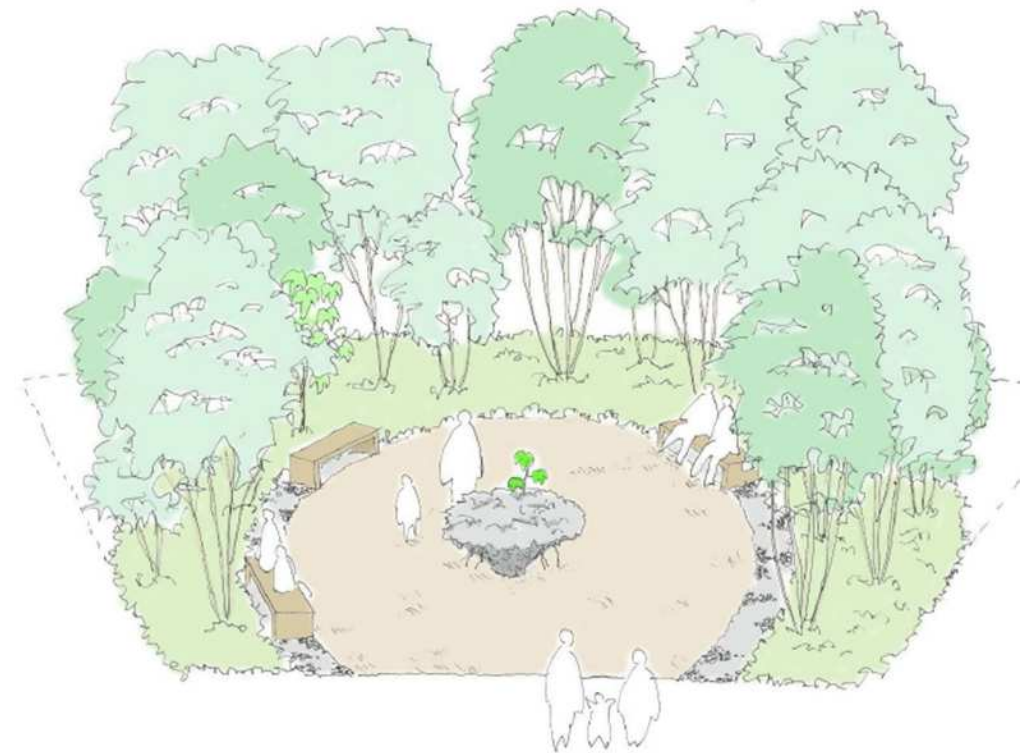


被爆アオギリ二世の実物展示

光が降り注ぐ庭園の中心にポツリと被爆アオギリ二世が芽生えた情景が、緑は平和の象徴であることを印象的に表現する。

語らいのベンチ (2人掛け)

…豊富な緑陰とミストによる居心地の良い空間でくつろぎ、被爆アオギリ二世を眺めながら平和の大切さについて考え語らう場とする。



周辺樹木 イメージ

光の空間を包む樹林 (山取り)

林床はホワイトガーデン (白花系) で清らかな雰囲気をつくる

定期的に林床からミストを噴出し、ミストに包まれた印象的な空間とする。(避暑対策を兼ねる)



被爆アオギリ二世の実物展示

光が降り注ぐ庭園の中心にポツリと被爆アオギリ二世が芽生えた情景が、緑は平和の象徴であることを印象的に表現する。



被爆アオギリ二世の苗木